

我が国におけるインクルージョンの推進 - 内閣府特命担当大臣の経験を通じて -

FLECフォーラム クロージングシンポジウム

基調講演

(2026年2月1日)

参議院議員 三原 じゅん子

(今日の講演)

1. 略歴
2. 障害者施策担当大臣としての取組
3. G7包摂と障害に関する担当大臣会合
4. イタリアにおけるインクルーシブ教育
5. 「ともともフェスタ2025-迎賓館から始まる『共生社会』-」
6. インクルージョンの推進に向けて

1. 略歴

- [illegible]



2. 障害者施策担当大臣としての取組

- ・ 令和6年10月14～16日
G7包摂と障害に関する担当大臣会合へ出席（於イタリア）
- ・ 令和6年10月17日
インクルーシブ教育を行うイタリアの小学校を視察
- ・ 令和6年12月27日
「障害者に対する偏見や差別のない共生社会の実現に向けた行動計画」を策定
- ・ 令和7年1月17日
旧優生保護法国家賠償請求訴訟原告団等と面会
- ・ 令和7年5月30～31日
「ともともフェスタ2025-迎賓館から始まる『共生社会』-」を初開催

3. G7包摂と障害に関する担当大臣会合 (令和6年10月14日～16日)





G 7 包摂と障害に関する 担当大臣会合とは

- 包摂と障害というテーマでの開催はG 7として初めて
- ソルファニャーノ憲章を採択

(出典) G 7 ITALIA 2024
公式ホームページより転載

G7大臣会合出席者

(G7)

日本：三原 じゅん子 内閣府特命担当大臣（共生・共助担当）
イタリア（議長）：アレッサンドラ・ロカテッリ 障害者担当大臣
カナダ：カマル・ケラ 多様性・包摂・障害者担当大臣
フランス：シャルロット・パルマンティエ＝ルコク 障害者担当大臣
米国：サラ・ミンカラ 国務省国際障害者権利担当特別補佐官
英国：スティーブン・ティムズ 社会保障・障害者担当閣外大臣
ドイツ：ケルシュタイン・グリーゼ 労働・社会問題省政務次官
EU：ヘレナ・ダッリ 欧州委員（機会均等担当）

(招待国)

ケニア：アルフレッド・ムトゥア 労働・社会保護大臣
南アフリカ：シンディシウェ・チクンガ 女性・若者・障害者大臣
チュニジア：イッサーム・ラフマル 社会問題大臣
ベトナム：グエン・ヴァン・ホイ 労働・傷病兵・社会省次官

(パネルディスカッション)

日本からの参加者

石川准（元国連障害者権利委員会副委員長）

田中伸明（日本障害フォーラム政策委員会委員長
[日本障害者団体連合]）

南由美子（日本障害フォーラム政策委員会委員
[全日本難聴者・中途失聴者団体連合会]）



歓迎式典に出席（10月14日）

- G7 閣僚会合の開催に当たり、イタリア政府主催の行事として開催
- 場所はイタリア国民にとって特別な場所である
アッシジ・フランチェスコ広場
- 各国の閣僚がステージでスピーチ。その際、障害当事者の方々から成るオーケストラが各国の国歌を演奏。
そのほか、障害のある方とない方が共にステージで発表。



(出典) Presidency of the Council of the Ministers 「G7 ITALIA 2024」 ウェブサイト
<https://www.g7italy.it/en/eventi/inclusion-and-disability/>



(出典) Presidency of the Council of the Ministers 「G7 ITALIA 2024」 ウェブサイト
<https://www.g7italy.it/en/eventi/inclusion-and-disability/>

4. イタリアにおけるインクルーシブ教育

- ・ 障害児のインクルーシブ教育に取り組む小学校を視察
- ・ 様々な障害や行動特性を持つ生徒が同じ教室で授業に出席
- ・ 教材や学習道具も各生徒の特性に応じた物を使用



5. とともにフェスタ2025-迎賓館から始まる「共生社会」-

「障害者に対する偏見や差別のない共生社会の実現に向けた行動計画」の策定に向けて

(行動計画策定に際して行った当事者団体等からのヒアリング)

- ・「障害のある人となない人が関わる機会を持つことにより偏見や差別を減らすことができる」
- ・「施設や病院だけでなく、地域の支援者を増やしていくことが重要である」

等の御意見。



(出典) 首相官邸HP

「障害者に対する偏見や差別のない共生社会の実現に向けた行動計画」抜粋

- 障害のある人となない人の相互理解の促進や障害のある人の社会参加のきかけ作り、インクルーシブな社会の実現に向けた情報発信等を目的として、障害の有無にかかわらず楽しみ、交流することができる普及啓発イベントを実施する。

令和6年12月27日

第3回障害者に対する偏見や差別のない共生社会の
実現に向けた対策推進本部において、
「障害者に対する偏見や差別のない共生社会の実現に
向けた行動計画」を策定



ともともフェスタ 2025～迎賓館からはじまる「共生社会」～

- 障害者に対する偏見や差別のない共生社会の実現に向けて、障害の有無にかかわらず、共に楽しむ経験を通じて、交流や相互理解を促進するイベント
- 基本コンセプト
 - (1) 障害の有無にかかわらず、共に「楽しむ」経験を通じて、交流・相互理解を促進
 - (2) 合理的配慮や情報保障等を通じた「障害の有無を気にせず楽しめるイベント運営のモデル」となることを志向
 - (3) 歴史的・文化的価値を有する「特別感」のある環境での実施



実行委員会と共に

- 多くの障害当事者の団体に構成する実行委員会と共に準備を進める
- 地方公共団体や民間企業、民間支援団体等の御協力
- 様々な障壁をどう乗り越えるかの挑戦
(例：迎賓館前庭の石畳)

当日の様子①オープニングセレモニー



当日の様子①オープニングセレモニー（続き）



（出典）東京都HP

当日の様子②ブース



(出典) 首相官邸HP

当日の様子③ステージパフォーマンス



(左) 瑞宝太鼓さんによる演奏



(右) NPO法人舞はんど舞らいふさんによる手話ダンス

当日の様子③ステージパフォーマンス（続き）



（左）五嶋みどりさん・NPO法人ミュージック・シェアリングさんによる演奏

6. インクルージョンの推進に向けて

- 障害の社会モデルを含め、障害に関する正しい知識
- 障害のある人が地域で生活する上で、なんでも相談できる体制
- 障害のある人となない人が共に学び共に育つ経験ができる環境、
共に働ける環境

ご清聴ありがとうございました。